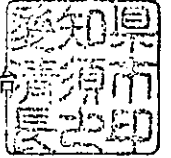


20清土 第231号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

愛知県清須市長 加 藤 静 治



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたことについて、別紙のとおり報告いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

様式①

愛知県清須市

◆今後、道路財源は厳しくなる一方と思われる情勢の中、本市の道路状況は、都市計画道路以外道路新設は殆どなく、道路改良・維持修繕等でそれに要する費用が年々増大していますが予算確保に苦慮している状況であります。

1. 国庫(県費)補助事業について、
補助要件の枠を拡大していただき。→生活道路の舗装打ち替え等
2. 地方債制度における償還期限の延長及び借款条件の緩和、地方交付金算入額の増額

◆国・県道の渋滞緩和について、現時点は論外と思いますが、東名阪自動車道・名古屋高速道路の無料化を進めていただきたい。
(無料化は無理と思いますが、通行料の一本化をすれば利用者は増えると思われる。)
(庄内川に架かる橋梁絶対数不足が渋滞の要因であります。通行料金の緩和を今以上に実施されればと思います。)

◆公共交通機関利用への誘導 ※間接的事項として、記載させていただきました。
城北線(東海交通事業)と東海道本線(JR)と料金体制がことなることにより城北線の乗降客が少ない。料金体制を一本化すれば利用者が増え、マイカー通勤等が軽減されると思います。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

愛知県清須市

○現状

1. 旧市街地の道路について、老朽化している路線が多く、また、狹隘道路について拡幅が必要である。
2. 区画整理、土地改良等が完成後20～30年経過している地区が多いため、老朽化している路線が多い。
3. また、上記区域で、都市化が進み、道路改良が必要な路線が多い。→例えば、農地沿いの道路は全幅員整備されてなく、道路中央部のみ舗装がしてある場合、宅地化により道路整備を必要とする路線が多い。
4. 本市は、平成17年7月7日に西枇杷島町・清洲町・新川町が合併し、各々の町単位で道路行政を行ってきたが、旧3町を結ぶ地域内幹線道路の整備が遅れている。未整備区間は用地取得をしなければならない。
5. 旧市街地の歩道において、幅員が1m前後の路線があり、拡幅が必要であるが、用地確保に莫大の費用を要する。
6. 旧市街地で住宅等が密集し、狹隘道路のみの区域が旧街道(美濃路)沿いにあり、市街地再開発等の施策が必要である。
7. 庄内川特構事業による《枇杷島橋先行案》に伴い、清須市としては、生活道路が大きく関係することについて今後、国・県・市で慎重に協議せなければならない。国の絶大な協力が必要と考えています。

○課題

1. 予算確保が難しい。
宅地の筆面積が過少であり、建蔽率を侵害する。
2. 予算確保が難しい。
3. 予算確保が難しい。
4. 予算確保が難しい。
地権者の理解
5. 予算確保が難しい。
6. 予算確保が難しい。
宅地の筆面積が過少であり、建蔽率を侵害する。
地権者の理解
7. 動き出して間が無いため、コメントは控えます。

1. 庄内川・新川・五条川、3河川の歩道設置等による川のネットワーク作り
 - ◆ 庄内川においては、激特事業で市内の約4割は2段堤防になり、景観がよいことから散策者が多い。今後は名古屋市の庄内緑地までの歩道整備が望まれる。
 - ◆ 新川においては、清須市地内右岸の高水敷歩道は整備されているが、左岸は4割程度整備されてない区間があり今後整備していきたい。
 - ◆ 五条川においては、ほとんどが未整備であるが、今後、河川整備と併せ歩道整備していきたい。
2. 都市計画道路全路線の整備による都市交通の快適性、利便性
 - ◆ 地域内幹線道路の整備
本市の中央部を貫く幹線道路の整備が急務である。(枇杷島小田井線・枇杷島停車場線・助七西市場線)
3. 鉄道の高架化・橋上駅舎の整備による交通渋滞の緩和
 - ◆ 名鉄本線高架事業(清洲地区)
莫大な事業費である。
①五条川名鉄鉄橋の架け替え②名鉄新清洲駅の橋上駅③都市計画道路西清洲上条線④国道302号線⑤県道給父西枇杷島線⑥駅前整備等が関連する巨大大事業である。また、仮線用地の確保が大きな課題である。
◇五条川の治水安全度の向上
◇踏切の廃止による交通緩和が期待できる。③④⑤
特に国道302号線については、4車線化が可能なり、踏切部の慢性渋滞が解消される。
4. 旧街道(美濃路)の復活による《参加と交流のまちづくり》《地域活性化のまちづくり》の構築
 - ◆ 『清洲城』『西枇杷島の山車』と『美濃路町屋改修』を活用した道路整備
5. 区画整理等による面整備
6. 狭隘道路・歩道の拡幅
7. 生活道路のグレードアップ化

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④
愛知県清須市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性 利便性の向上	地域内幹線道路の整備 ②-2-2で掲載	◎交通渋滞の緩和 ◆新設架橋による交通緩和 《都市計画道路枇杷島停車場線》 ◆JR東海道本線アンダーによる交通緩和 《都市計画道路枇杷島小田井線》 ◆旧街道《美濃路》の交通緩和 ◎歩行者の安全確保 ◆JR枇杷島駅への通学・通勤者の安全が確保できる。 ◎生活道路への侵入車両が緩和される。	
都市交通の快適性 利便性の向上	名鉄本線高架事業(清洲地区) ②-2-3で掲載	◎踏切撤去による交通渋滞の緩和・踏切事故の撲滅 ◆国道302号線 ◆県道給父西枇杷島線 ◆都市計画道路西清洲上条線 ◎治水安全度の向上 ◆五条川名鉄鉄橋の架け替えに併せた護岸改修 ◎区画整理事業における道路計画の実現化 ◆現在事業中の土田土地区画整理が高架計画に基づく道路計画を進めており、利便性の向上が図れる。	